

8/11(金) 13:00-17:00

限定
30名

- 会場 自治労会館3F 役員会議室 札幌市北区北6条西7丁目5-3
- 参加費 2500円(2日間) ■ セミナー終了後交流会開催(参加費別途)

■ 基調講演

土山希美枝氏 (龍谷大教授)
「生きる一般質問、〈つなぎ・ひきだす〉市民参加」



■ 基調報告 (報告順は裏面参照)

神原 勝氏 (北大名誉教授)
「議会の政策活動と政策情報の作成・公開」



石川さわ子氏 (札幌市議会議員)
「文書質問の意義と限界—私の経験から」



澤田 元気氏 (前福島町議会議事係長)
「一般質問に対する長の対応を追求する」



渡邊 三省 (研究会代表)
「議会の政策活動における多様な場と方法」



西科 純 (研究会代表)
「一般質問追跡システム、四者間討議のあり方」



理論と実務をつなぐ技術革新を目指して

議会技術研究会では、議会の「一般質問に関するセミナーを開催します。議会改革・活性化および議員の資質向上をめざし、ともに学び実践し、住民の福祉向上につなげていきたいと思います。会場等の関係から参加者を三〇人に限定し、現職議員を優先、先着順で受け付けさせていただきます。ぜひお申込みください。

一般質問の技術向上研修

議会技術研究会サマリーセミナー



8/12(土) 9:00 ~ 16:00



「一般質問技術研修」
講師: 土山希美枝氏 (龍谷大教授)

※ 前日8月11日(金)のセミナーにもご参加できる方。

- 主催: 北海道自治体学会・議会技術研究会 (公社)北海道地方自治研究所
- 申込・問合先: 研究会代表運営委員 西科 純 (090-7647-6252)

■ スケジュール

13:05-14:00 基調講演 土山氏 15:10-15:40 西科氏

■ 講師紹介

14:00-14:30 基調報告 渡辺氏 15:40-16:10 石川氏

14:30-15:00 澤田氏 16:10-16:40 神原氏

「生きる一般質問、〈つなぎ・ひきだす〉市民参加」 土山 希美枝 (つちやま・きみえ)



龍谷大学政策学部教授。芦別市出身。法政大学大学院社会科学部政治学専攻・博士課程修了・博士(政治学)専門分野 地方自治、公共政策、日本政治。研究テーマは、変動する社会の構造と、政策、市民、政府の機能。持続可能な社会のための〈政策・制度のネットワーク〉である公共政策のありかた。研究キーワードは都市型社会、社会変動、地方自治、持続可能性。「京都市市民参加推進フォーラム」座長「草津市自治体基本条例検討委員会」委員長「彦根市まちづくり基本条例検討委員会」コーディネーター。

「議会の政策活動と政策情報の作成・公開」 神原 勝 (かんばんら・まさる)



北海道大学名誉教授。1967年中央大学法学部卒業。財団法人東京都政調会研究員、財団法人地方自治総合研究所研究員を経て、1988～2005年北海道大学大学院法学研究科教授、2005年北海道大学名誉教授。2005～2013年北海学園大学法学部教授。専攻・自治体学。著書『自治・議会基本条例論』(増補版、公人の友社2009年)、『総合計画の理論と実務』(編著、公人の友社2015年)、『戦後自治の政策・制度事典』(編著、公人社2016)など。

「文書質問の意義と限界—私の経験から」 石川 さわ子 (いしかわ・さわこ)



札幌市議会議員(2期目)。旭川市出身。北海道教育大学札幌分校養護教員課程中退。2003年～2010年市民ネットワーク北海道運営委員。2011年札幌市議会初当選。2011年～2015年札幌市議会市民ネットワーク北海道幹事長・政審会長、札幌市議会厚生委員・文教委員等。現在、総務委員、大都市税財政制度・人口減少対策調査特別委員、議会機能強化・改革検討委員。市民ネットワーク北海道共同代表。

「一般質問に対する長の対応を追跡する」 澤田 元気 (さわだ・もとぎ)



福島町職員(前福島町議会事務局議事係長)、現道総合政策都市町村課財政グループ主任(派遣中)。1985年生。2004年福島町役場入庁後、税務課(3年)、水産課(2年)、議会事務局(8年)に配属。議会事務局では主に議会だよりの編集や議会映像配信などを担当し、福島町議会改革を支えた。

「議会の政策活動における多様な場と方法」 渡辺 三省 (わたなべ・かずみ)



議会技術研究会代表運営委員。札幌市役所(総務局行政情報課長)。1959年生。1981年札幌市役所採用。1989～1999年議会事務局(この間1993～1995年全国市議会議長会に派遣)、オンブズマン事務局次長、西区総務企画課長を経て現職。「議会基本条例の制定を契機としたこれからの議会の姿〈議会基本条例要綱研究会試案〉」(北海道自治研究430 2004.11)など。北海道自治体学会員(運営委員・前監事)。

「一般質問追跡システム、議会と三者間との討議のあり方」 西科 純 (にしな・じゅん)



議会技術研究会代表運営委員。芽室町役場(税務課長)。1963年生。芽室町役場入庁後、北海道庁・北海道村会派遣を経て、企画財政課長・住民生活課長・子育て支援課長・議会事務局長・税務課長。「自治体議会の政策サイクル-議会改革を住民福祉の向上につなげるために」(共著、公人の友社、2016年)など。自治体学会(前運営委員)、北海道自治体学会員(前代表運営委員)、議会事務局研究会会員。g-mix会員。